

# 研究方法各論（質的研究法）

[講義] 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○宮地普子 [miyajih@hoku-iryo-u.ac.jp]  
平典子 [hiran@hoku-iryo-u.ac.jp]  
花淵馨也 [hanab@hoku-iryo-u.ac.jp]

## 【概要】

研究方法各論では、研究方法論の基礎的知識をふまえ、質的研究法の特徴と種類、フィールドワークとしてのデータ収集法およびデータ分析法に関して、講義とグループディスカッションを通して学習する。

## 【学修目標】

1. 質的研究法の特徴を説明できる。
2. 代表的な質的研究方法の特徴として、理論的背景、データ収集と分析の特徴を説明できる。
3. 学習した方法論の特徴を捉え、研究の問いに応じた適用について説明できる。
4. 質的研究法におけるデータ収集および分析法を理解できる。

## 【学修内容】

| 回             | テーマ                          | 授業内容および学修課題  | 担当者     |
|---------------|------------------------------|--|---------|
| 1<br>)<br>2   | 質的研究法の特徴と種類(1)               | ガイダンス<br>グループディスカッション<br>エスノグラフィー<br>グラウンデッド・セオリー・アプローチ                | 宮地      |
| 3<br>)<br>4   | 質的研究法の特徴と種類(2)               | 文化人類学におけるフィールドワーク  | 花淵      |
| 5<br>)<br>6   | 質的研究法の特徴と種類(3)               | グループディスカッション<br>エスノグラフィー<br>グラウンデッド・セオリー・アプローチ                         | 宮地      |
| 7<br>)<br>8   | 質的研究法の特徴と種類(4)               | 発表とディスカッション<br>エスノグラフィー<br>グラウンデッド・セオリー・アプローチ                          | 宮地<br>平 |
| 9<br>)<br>10  | 質的研究法におけるデータ収集法と分析法(講義)      | 1. データ収集の方法と特徴<br>インタビュー法・参加観察法の種類と進め方<br>2. データ分析法<br>質的研究法における分析法の基本 | 宮地      |
| 11<br>)<br>12 | 参加観察法によるデータ収集とデータ分析のプロセス(演習) | グループに分かれ、観察データをもとに分析のプロセスを体験する。  | 宮地      |
| 13<br>)<br>14 | 参加観察法によるデータ収集とデータ分析のプロセス(演習) | グループに分かれ、観察データをもとに分析のプロセスを体験する。  | 宮地<br>平 |
| 15            | 質的研究論文のクリティーク                | プレゼンテーションとディスカッション   | 宮地<br>平 |

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

レポート(研究法の種類, クリティーク各30%), グループワークへの参加度(40%)から総合的に評価する。

## 【参考書】

随時提示する。

**【学修の準備】**

関連資料および関連図書を熟読して臨む。